



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE
T O S Y ' S
 東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
 チャーター認証日 1989年5月 2日
 チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
 2-18-12,NISIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO
 PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後5：00
 (但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
 第二例会：翌々週火曜日 午後5：00

2025年3月号ブリテン 第409号

2024-2025年度主題(Thema) IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

会長	御園生 好子
副会長	小山久恵
書記	大森裕子
会計	大谷博愛
直前会長	長津徹
担当主事	鳩山徹郎

Our Motto	国際標語	「共により良い世界を」
国際会長	シャナヴァスカーン	「立ち上がろうそして輝こう」 (インド)
アジア太平洋会長	ジョウン・ウォン	「大きなインパクトを起こそう」 (台湾)
東日本区理事	山田公平	「ワイズの方向性を見極める」 (宇都宮)
あずさ部部長	ピーター・マウントフォード	「めあて望み」 (甲府)
サンライズ会長	御園生好子	「原点を見つめさらなる発展を」

3月第一例会のお知らせ

とき 3月13日(木) 17:00～
 ところ 東京YMCA山手センター
 かいひ 500円

◆プログラム

開会点鐘	会長
ワイズソング・ワイズの信条	一同
卓話『元 UNHCR 職員が今考えていること』	
卓話者	浅羽俊一郎メン
協議・報告・連絡事項	会長・各担当者
にこにこ・一分間スピーチ	出席者全員
閉会点鐘	会長

3月以降の予告

3月25日 お散歩例会
 4月10日 第一例会
 4月19日 東広島30周年
 4月24日 山中湖センターお花見

3月のハッピーバースデー

3月5日 大森裕子さん
 3月18日 長津徹さん
 3月27日 小山久恵さん

2月例会出席者

9名
 (出席率 64%)

あずさ部第2回「ワイワイ甲府評議会」

2月8日(土) 山梨YMCA大澤英二記念ホールに於いて、ピーター・マウントフォードあずさ部部長の開会点鐘で開会



議案審議

第一号議案 2025～26年度あずさ部役員…承認
 第二号議案 2026～27年度あずさ部長 大和田浩二…承認
 第三号議案 あずさ部 CS・Yサ事業助成…承認
 ・松本クラブ 第26回アジア賞留学生作文コンテスト…8万円
 ・富士五湖クラブ 第14回障がい者フライングディスク大会…7万円

・甲府 21 クラブ 第 6.7 回ベビーカーコンサート in 甲府… 5 万円

○ 2024～25 年度会計中間報告

○ 事業主査報告

その後、「あずさ部の運営について」のグループ討議が行われた。これは事務局で纏めて次回 5 月の評議会の議案提出に反映される。

2 月第一例会報告

大谷博愛

2 月 13 日(木)、サンライズ 2 月第一例会が山手学舎食堂(集会室)で行われました。この例会は今村由紀さんの入会式と山手学舎との合同鍋パーティーという大きなイベントでしたので、16 時 30 分に集合して鍋の準備を始め、例会の開始は 18 時でした。

入会式はキャンドルライトの厳かな雰囲気の中で、今村さんは御園生会長が読み上げる国際ワイズメンズクラブの目的・メンバーの心得を受け入れるとしっかり宣言されました。これでサンライズに新たなメンバーが加わり、立会人として参加されたピーターあずさ部部長からお祝いの言葉がありました。



鍋パーティーは、もう一人の立会人である長谷川あや子あずさ部書記の御発声による乾杯で始められました。鍋は寄せ鍋、キムチ鍋、鳥の水炊きが用意され、みんな自由に動き回りながら全部の鍋を楽しむことができました。

舎生は 7 人参加しましたが、全員が臆することなく溶け込んで飲み食い語り大いに盛り上がりました。19 時から始まるリーダー会に出席のため途中退席予定の舎生も時を忘れてリーダー会出席が大幅遅刻という事態もありました。

これまでにないほどサンライズのメンバーと舎生がともに楽しんで盛り上がりましたが、これは大いに意義のあるユース事業であったということです。舎生にとって単に飲み食いを楽しむだけではなく祖父母以上の年代なのに妙に元気溢れる年寄と対等の立場で語り合える機会はある種の刺激となる貴重な体験でしょう。七面倒臭い教訓めいた場を提供することだけが意義深いサポートなのではなく、このような例会こそ舎生を励ます良い機会になったと思います。私たちにとっても若い世代と話題を共有できるのは楽しいことなのでこれからも大切にしたい行事です。

出席者は、メンバーが今村さん、大森さん、小山さん、菰渕さん、立田さん、長津さん、御園生さん、大谷、ピジターがピーター部長、長谷川部書記、舎生が西尾くん、酒井くん、辻くん、繁田くん、小泉くん、李くん、加地くん 計 17 名です。



入会あいさつ

今村 由紀

2 月から入会させていただきました。

中野区の鍋屋横丁というところに 25 年住んでいます。群馬県沼田市で小学校まで過ごし、中学から上京し 6 年間寄宿舎生活を送り、薬科大に入り、薬局で働いていましたが、7 年前に夫の介護のため退職しました。1 年前に夫が亡くなり、さて何をしようかと考えていた時、従兄弟からおもしろい会があるよ、と声をかけられ、活動の

内容などよくわからないまま「YMCA」という言葉にだけつられ 10 月から参加しました。(実は私も神田の YMCA で結婚式を挙げたので。)

本当は家の中でゴロゴロしているのが大好きなのですが、これではいけないと思えるべくいろいろな活動に参加しようと思っています。

今は中野区の生涯学習大学やいろいろな講座に通ったり、教会やデイサービスの手伝いなど、今まで学べなかったことをやっています。

趣味は脳トレや室内ゲーム、一番苦手なことは人前で話すこと。こちらの会では、毎回一人ひとり発言をしなくてはならないようですが、とても楽しそうな会ですがそれだけがちょっと難関？です。

どうぞこれからよろしく願いいたします。

2 月第 2 例会報告

小山久恵

2 月 25 日、山手センターで 5 時から開かれました。各自ハサミと切手を持ちより作業に取り掛かりました。最近切手もあまりなく、人数が多かったせいもあって、意外と早く終わりました。3 月以降の予定は、以下の通り決定されました。

4 月 19 日 東広島 30 周年

4 月 24 日 山中湖センターお花見

富士五湖クラブと合同例会にするかどうか。

出席者 長津、蔣淵、御園生、大谷、柴田、今村、大森、小山

ひよこのつぶやき vol:262

松本クラブ 柳澤 岳

わたしのニガテな料理は辛いものです。カレーで言ったら甘口しか食べることができません。

昨年 12 月、留学生のためのアジア賞作文コンテスト受賞式典後の懇親会で、スリランカから来た留学生のラヒルさんと出会いました。彼はモミアゲから口のまわりまで立派なヒゲをたくわえており、年齢以上に貫禄がありました。

ラヒルさんは卒業後、松本市でスリランカ料理を提供するレストランを開く計画を持っていました。松本市内に

はスリランカ料理を提供するレストランがないため、彼の計画は非常に興味深いものでした。ラヒルさんはとてもフレンドリーで、話している最中はずっとニコニコしていました。

彼はスリランカ料理について熱心に語り、その魅力を私に伝えてくれました。特に、スパイスの使い方や伝統的な料理の作り方についての話は、私にとって新鮮で興味深いものでした。また、ラヒルさんはスリランカの男性がなぜヒゲをたくわえるのかについても教えてくれました。彼によると、ヒゲは男性の象徴であり、尊敬や信頼を示し、何よりも魔除けとなるそうです。この話を聞いて、文化の違いを感じると同時に、異文化理解の重要性を改めて実感しました。

さらに、ラヒルさんは「一带一路」による対中債務の問題点や日本の魅力についても流ちょうな日本語で教えてくれました。彼の知識と洞察力に感心し、彼との会話は非常に有意義なものでした。



また、小山憲彦さんが、一昨年もお越しくださり、温かいまなざしでこの式典を見守っていただいたことを思い出し、深い感謝とともに、やはりさみしい気持ちになりました。

ラヒルさんとの出会いは、私にとって貴重な経験となりました。彼の情熱や計画に触れることで、私も新たな挑戦に向けて勇気ももらいました。松本市で彼のレストランが開店する日が待ち遠しいです。わたしは辛い料理がニガテだ。けれども近い将来ラヒルさんのレストランで食事することを楽しみにしています。

山中湖センターの様子

山中湖センター 荒木 暁

2 月に入って寒さが増した山中湖村。

日本に寒波が押し寄せ久し振りに山中湖も半分凍っていました。積雪も 15 センチほどあり山中湖センターも雪景色となりました。雪の積もったグラウンドには野生動物の足跡がたくさんつき、動物たちの憩いの場になっていたのかもしれませんが。

まだまだ寒さは続いているのですが、日差しは時折温かさを感じるようになり春も少しずつ近づいて来たように

も思えます。

3月に山中湖センターもお客さん受け入れを再開します。
春の訪れを感じに是非山中湖センターにお越しください。



YMCA ニュース

山手センター 鳩山徹郎

★ソシアスフォーラム開催 (2025/2/1) ★

2月1日、会員部主催の「ソシアスフォーラム 2024」が山手センターで開催され、会員、職員、学生、ボランティアなど、83名（内30名はオンライン）が参加した。前半は、是常景子氏（東京YWCA青少年育成事業部）と江尻明子氏（東京YMCA多文化共生スペース▽）から、日本社会で生きる外国にルーツのある子どもたちの置かれた現状や、それぞれの団体の取組について講演を聞いた。後半は、社会体育・保育専門学校、及び国際ホテル専門学校の学生から、能登半島地震と豪雨の被災地支援ボランティアについて報告があった。また同日から、250万円を目標に、外国にルーツのある子どもたちを支援するためのクラウドファンディングを開始した（4月18日まで）。

★いじめのない世界をめざす「ピンクシャツデー2025」(2025/2/26) ★

YMCAはピンクシャツデーに取り組んでいます。社会全体がいじめに対して「自分事として」向き合うこと、そして被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者にならないこと」が、いじめられている人を救うことになる...と私たちは考えます。公正で平和な世界の実現をめざすために、私たちはその歩みを続けます。

全国のYMCAは今年も2月最終水曜日に、ピンク色の服を着ていじめ反対をアピールする「ピンクシャツデー」運動に取り組みました。東京YMCAでは、2月26日前

後に各部署で教職員や園児・学生たちがピンク色の服を着るなどしてアピールしました。



★第34回チャリティーゴルフ大会★

東京YMCAでは毎年4月、[チャリティーゴルフ大会](#)⇒を開催しています。1990年から毎年多数の方々のご参加・ご協賛をいただいて継続しており、おかげさまで今年で34年目を迎えました。支援先は、能登半島災害復興及びフレンドシップファンドです。プレーを楽しむことが社会貢献になります。会員だけでなく、どなたでもご参加いただけます。ぜひご知友お誘い合わせの上、お越しください。

編集後記

ブリテン3月号をお届けします。梅の花が満開との便りが届きました。季節は少しずつ春へと移り変わりつつあります。梅の後は桜が咲き始めるでしょう。春は百花繚乱で気分が浮き立ちますが、同時に花粉症の方には辛い時期でもあります。お花を愛でるのにも、マスクが手放せません。それでも、お天気の良い日などは戸外に出て、思い切り春を楽しみたいものですね。皆さまがそれぞれの春を満喫できることをお祈りしています。

